



つうしん

～東通原子力発電所だより～
2021.1.10

東北電力(株)東通原子力発電所
青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34-4
TEL(代表) 0175(46)2225



明けましておめでとうございます。

地域の皆さまにおかれましては、日頃より東通原子力発電所の運営にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、当発電所は現在、原子力規制委員会による新規制基準適合性審査への対応に全力を挙げて取り組んでいるところです。

昨年は、7月に開催された審査会合において、「敷地～敷地近傍の断層は、震源として考慮する活断層（将来、地震を発生させる可能性がある断層）に該当しない」とする当社の評価をご了承いただくなど、一定の進展がみられました。

一日も早く再稼働できるよう、本年も、新規制基準適合性審査への対応に全力を傾注するとともに、地域の皆さまから信頼される発電所を目指し、発電所および協力会社が一丸となって、より一層の安全性向上に努めてまいります。

皆さまには、昨年同様、変わらぬご理解とご厚情を賜りますようお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



東通原子力発電所長
青木 宏昭

新年の抱負

～2020年度新入社員より～

発電所で働き始め、覚えなければならない業務や専門知識の多さに圧倒され、自分に与えられた業務をこなすだけで精一杯の一年でした。

今年は、幅広い知識を得るため、業務に生かすことができる資格の取得にも積極的に挑戦したいです。



発電管理課
米田 練太郎

昨年は、東通村での生活を通じて、自然豊かな下北地域の素晴らしさを知ることができました。美味しい山海の幸や数々の絶景地は、私にとって忘れられない経験になりました。

今年は、下北のさらなる魅力を知るとともに、地域の皆さまと触れ合う機会を大切にしていきたいです。



発電管理課
坂井 遼太郎

全交流電源喪失訓練を実施しました



対策本部内で復旧戦略などを論議

11月25日、すべての交流電源が喪失するという厳しい事態を想定した訓練を実施しました。

今回の訓練は、大雨と暴風の中で送電線からの外部電源がすべて停止し、その後、常設の非常用電源設備も停止したことにより、原子炉を冷却する機能が失われる事象が発生したという想定のもと実施しました。

当日は、新型コロナウイルス感染防止対策として密を避けるため、要員を通常よりも少なくした体制で対策本部を運営。事態の収束に向け復旧戦略を策定するとともに、対応要員の役割や作業手順の確認などを行いました。

また、現場での実動訓練として高圧応急電源車の接続操作訓練を実施しました。

今後も、さまざまな状況を想定した訓練を継続的にを行い、緊急時における対応能力の維持・向上に努めてまいります。



高圧応急電源車の接続操作

『交通安全大会』を開催しました

12月9日、冬期における交通災害の撲滅を図るため発電所および協力会社の従業員が参加し、交通安全大会を開催しました。

当日は、むつ警察署交通課長の阿保宏様より、2020年の青森県内およびむつ警察署管内の交通事故発生状況、ならびに冬期における交通事故防止のポイントについて講話をいただきました。

最後に、参加者の代表者が安全宣言文を読み上げ、発電所および協力会社が一丸となり、無事故・無災害を達成することを誓い合いました。

なお、今回は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、例年より参加者数を少なくし、参加者同士の間隔を十分確保した中で行いました。



むつ警察署交通課長 阿保宏様の講話